

年間学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・創造的に音楽にかかわり、音楽活動への意欲を高め、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにのする態度と習慣を育てる。 ・旋律に重点を置いた活動を通して、基礎的な表現の能力を伸ばし、音楽表現の楽しさを感じ取るようにする。 ・音楽の楽しさを味わって聴き、様々な音楽に親しむようにする。 		
学期	学習内容・到達目標	学習内容・到達目標	
前期	<p>歌と楽器のひびきを合わせよう ○さくら さくら ○いろいろな木の実 ○とんび ○歌のにじ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・声や音を重ねて演奏する活動に興味をもって、進んで表現しようとしている。 ・声や音が重なり合う響きを感じ取って、歌ったり楽器を演奏したりすることができる。 ・声や音が重なり合う響きを感じ取りながら、範唱や友達の演奏を聴くことができる。 <p>----- 日本の音楽に親しもう ○きょう土の音楽 ○こきりこぶし まきばの朝</p> <ul style="list-style-type: none"> ・郷土の音楽に関心をもって、進んで聴いたり演奏したりしようとしている。 ・日本の音楽の特徴を感じ取って、歌い方や打楽器の演奏の仕方を工夫している。 ・旋律や響きの特徴を感じ取り、伸び伸びした声で歌ったり打楽器を演奏したりすることができる。 <p>----- いろいろな音のちがいを感知取る ○音集め ○音のカーニバル とんび</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音の特徴や音色の違いに関心をもって、進んで聴いたり表現したりしようとしている。 ・音色や響きの違いを感じ取って、音の出し方や組み合わせ方を工夫している。 ・音の特徴や音色の違いを生かして、イメージに合った表現をすることができる。 	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・旋律の特徴を感じ取ったり、音楽の楽しさを味わったりしながら聴くことができる。 <p>----- 曲の気分を感じ取る ○冬の歌 ○友だちシンドバッド つるぎのまい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌詞の内容や曲想を感じ取って、歌い方や楽器の演奏の仕方を工夫している。 ・曲想を生かして、表情豊かに歌ったり楽器を演奏したりすることができる。 ・曲想の変化を感じ取ったり、場面の様子を想像したりしながら聴くことができる。 <p>----- 音をききあって合わせよう ○パレードホッポー ○きゅう友 ○茶色の小びん ○空に雲に おどろう楽しいポーレチケ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・声や音の重なりに関心をもって、進んで聴いたり表現したりしようとしている。 ・重なり合う音の美しさを感じ取って、歌い方や楽器の演奏の仕方を工夫している。 ・旋律が重なり合うおもしろさや響きの美しさを感じ取りながら聴くことができる。 <p>----- 生き生きと歌おう ○歌よひびけ ○グッデーグッパイ 6年生を送る会で歌う歌○君が代</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きれいな歌声に憧れをもち、進んで範唱を聴いたり歌い方を工夫したりしようとしている。 ・歌詞の内容や旋律、リズムなどの楽曲の特徴を感じ取って、表現の仕方を工夫している。 ・発声や呼吸の仕方に気を付けて、響きのある声で歌うことができる。 ・発声や歌声が重なり合う響きの美しさに気づいて、範唱や友達の演奏を聴くことができる。
	後期		<p>ふしのとくちょうを感知取る</p> <p>○あいのあいさつ 陽気な船長 あたらしいえがお オーラ リー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レガートやスタッカートなどの旋律の特徴を感じ取り、歌い方や楽器の演奏を工夫している。 ・レガートやスタッカートなどの旋律の特徴を生かして、歌ったり楽器を演奏したりすることができる。

音楽科の評価

・音楽科では四つの観点で評価します。

音楽への関心・意欲・態度	音楽的な感受や表現の工夫	表現の技能	鑑賞の能力
進んで音楽にかかわり、音楽活動への意欲を高めるとともに、生活を明るく潤いのあるものにしようとする。	曲想や音楽を特徴付けている要素を感じ取り、それらを生かした表現や鑑賞の仕方を工夫している。	音楽を聴いたり楽譜を見たりして演奏するとともに、呼吸および発音の仕方に気を付けて自然で無理のない声で歌ったり、音色に気をつけて楽器を演奏したり、音楽をつくったりする。	音楽を特徴付けている要素や、楽曲の仕組みに気をつけながら、曲想の変化を感じ取って聴く。

・次のような方法で見えていきます。

発言内容	テスト	表情や態度の観察	演奏聴取	鑑賞態度の観察	ワークシート	練習の様子
演奏場面の観察 グループの演奏聴取						

おうちの方へ

「聴くこと」から始める音楽の授業、これを常に大切にしたいと思っています。耳をすまして、友だちの声や演奏を聴くことは、相手の存在を受け入れ、相手の良いところを認めることにつながるからです。仲間と一緒に音楽をつくり、表現する楽しさを豊かに経験してほしいと願っています。